



2019 年度

事業計画書

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

学校法人 五島育英会

目次

I 2019年度事業計画の概要

1. 東京都市大学	3
2. 初等中等教育学校	4
3. 奨学金等による学生生徒等支援	5
4. 学校間連携	5
5. 人事計画	6
6. 財務計画	7
7. 施設・設備計画	7
8. 収益事業に関する計画	8
9. 内部監査	8

II 設置学校の2019年度事業計画

1. 東京都市大学	9
2. 東京都市大学附属中学校・高等学校	11
3. 東京都市大学等々力中学校・高等学校	12
4. 東京都市大学塩尻高等学校	13
5. 東京都市大学附属小学校	14
6. 東京都市大学二子幼稚園	15

はじめに

少子高齢化やグローバル化の進展、技術革新などに伴う社会構造の急速な変革が、私学を取り巻く環境に大きな影響を与えている。入学定員管理の厳格化等、大学運営に係る厳しい環境要因が増し、学習指導要領の改訂や高大接続改革等、社会から大学や学校に求められる期待はますます高まっている。

このような環境の中、他校においても積極的な学校改革を断行しており、生き残りをかけた学校間の競争が激化している状況にある。

学校法人五島育英会(東京都市大学グループ)では、今後においても魅力的な学校群であり続けるため、2017年度を初年度とする新たな中期事業方針を策定し、第1期事業計画立案の指針とした。

本事業計画は、第1期事業計画の3年目という位置付けである。

区分	期間	東京都市大学グループ 事業方針
第1期 事業計画	2017～ 2020年度	各学校が社会に対して圧倒的な存在感を示すことのできる「個の力」を育む。 <重点課題> ①教育及び研究の質向上と国際化 ②学生等の付加価値向上と満足度向上 ③レベルの高い入学者の確保 等
第2期 事業計画	2021～ 2025年度	個性強化により、他私学と差別化された各学校の「個の力」を結集し、都市大グループとしての「総合力」を育む。
第3期 事業計画	2026～ 2030年度	都市大グループとして社会に対して圧倒的な存在感を示すことができる「都市大ブランド」を構築する。

都市大ブランド構築に向けた長期事業計画を推進



I 2019 年度事業計画の概要

1. 東京都市大学

実行 6 年目となる「アクションプラン 2030」を着実に推進し、「国際都市東京で存在感を示す有数の私大」の達成に向け、「教育の質保証」、「キャンパス教育環境向上」、「ブランド力向上」、「大学運営向上」の 4 プロジェクトを、以下の 7 分類により、遂行する。

分類	主要計画
1. 教育	<ul style="list-style-type: none"> ■ 明確な教育目標の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・3 ポリシー^{※1}のさらなる明確化と定着化を目指し、検証・評価の実施 ■ 文部科学省 大学教育再生加速プログラム(AP)への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・テーマV「卒業時における質保証の取組の強化」計画書に沿った取り組みの実施 ■ 海外・国内長期インターンシップの促進 <ul style="list-style-type: none"> ・国内外インターンシップ提携先企業の拡大を目指し、インターンシップ提携先企業の新規開拓
2. グローバル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 留学プログラムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・本学独自の留学プログラムである TAP^{※2} 及び TUCP^{※2} の継続実施による、グローバル人材育成プログラムのさらなる推進 ■ 海外の大学等との交流システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・「アジア・オセアニア 5 大学連合^{※3}」による教育プログラムの実施
3. 研究	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文部科学省 私立大学研究ブランディング^{※4}事業への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・「都市研究の都市大プロジェクト」の推進のため、エイジングシティ総合研究を総合テーマとした、5 ユニット^{※4}の個別研究テーマの設定。東京圏を対象に人だけでなく、都市のハードとソフトの高齢化に起因する諸課題に関して全学的な学際研究を実施 ■ 外部資金の獲得等の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・Research Administration Center(RAC)^{※5}の活用等により研究支援体制を強化し、「科学研究費補助金」や「大型外部研究資金等」の獲得を強化
4. ICT	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育の質保証を中心とした ICT 整備(教学システム更新、教学 IR システム連携) <ul style="list-style-type: none"> ・「TCU-FORCE」^{※6}の全 18 学科での本運用を目指したシステム検証の継続実施
5. 施設	<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来の教育研究を見据えたキャンパス再整備の推進
6. 運営	<ul style="list-style-type: none"> ■ 創立 90 周年記念事業の展開
7. 認知度向上	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本学のビジョンを浸透させるブランディング活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・パブリシティを中心に据えた広報活動と話題性のある広告宣伝をミックスした戦略的なブランディング活動を展開 ■ 二子玉川キャンパスのさらなる活用 <ul style="list-style-type: none"> ・二子玉川キャンパスにおける夢キャンコミュニケーターをはじめとした学生の主体的活動を推進するとともに、地域連携拠点としての運用を促進 ■ 「世田谷プラットフォーム^{※7}」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・大学・自治体・産業界で連携し、中長期計画に沿った取り組みを着実に実施

※1 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)、入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)

※2 東京都市大学オーストラリアプログラム(TAP)、東京都市大学&カンタベリー大学留学プログラム(TUCP)

※3 デラサール大学(フィリピン)、エディスコワウン大学(オーストラリア)、タマサート大学シリントーン国際工学部(タイ)、マレーシア日本国際工科院(マレーシア)と本学の 5 大学で構成された連合体

※4 生活・健康・情報・インフラ・環境の 5 つの領域

※5 東京都市大学総合研究所における研究・運営に関する事項の研究支援業務及び東京都市大学の学術研究の高度化と研究成果の社会実装を推進することを目的とした研究支援機関。

※6 学生が正課や正課外などの活動で培った経験を登録していくことで、学生の持つ様々な力を可視化し、教職員の支援を受けながら「自己理解と成長」を促す学修支援システム(大学教育再生加速プログラム(AP)のテーマV「卒業時における質保証の取組の強化」に採択)

※7 世田谷区内に所在の複数大学(国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京都市大学、東京農業大学)、世田谷区及び東京急行電鉄株式会社等が連携し、地域における高等教育の活性化並びに区内産業界、更には世田谷区全体の発展に寄与することを目的とする。(私立大学等改革総合支援事業タイプ 5 発展型 II に選定)

2. 初等中等教育学校

前年度に引き続き、グローバル人材の育成を目指した国際化教育の推進及び主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、アクティブ・ラーニング、電子黒板やタブレット端末等ICTを活用した特色ある教育プログラムを積極的に推進する。

	国際化教育の推進	アクティブ・ラーニング及びICTの活用等特色ある教育
東京都市大学附属 中学校・高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際的に活躍できる人材の育成を目指した、海外・国内研修旅行等の深化・充実 ■ 「中3 ニュージーランド短期留学制度」の充実 ■ 海外大学進学希望者に対する指導力強化を目指し、教職員の見識を高めるとともに、海外大学進学希望者を対象とした説明会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクターや校内無線 LAN を活用した効果的な授業の実践及び教員・生徒双方向授業の検討 ■ アクティブ・ラーニングを通して新しい学力観への対応を推進することを目的とした、教員による積極的な外部研修への参加 ■ タブレット端末を利用した効果的な授業の開発
東京都市大学等々力 中学校・高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海外大学進学希望者に対する万全な支援の継続 ■ 語学研修先のパーシティカレッジ(オーストラリア)からの留学生の受入れ ■ 模擬国連への出場者の倍増 ■ 世田谷南ロータリークラブと連携したインターアクト活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ タブレット端末の全校生徒所持に伴う授業支援ソフトの活用及びネットワークの増強とアクセスポイント増設 ■ 学外関係者向けの ICT 機器を活用した授業公開(ICT フェア)の拡充 ■ 国際バカロレア認定校の TOK(知の理論)の研究と段階的実践
東京都市大学塩尻 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ■ グローバル時代を生き抜く英語力を身に付けさせることを目的とした、英語授業の改革 ■ 海外高校との交流協定の締結及び積極的な国際交流活動の実施 ■ 留学生を活用した地元塩尻市との小中高一貫連携活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 昨年度導入した「校務支援システム」を積極的に活用した、生徒一人ひとりへのきめ細やかな生徒指導、進路指導の実施 ■ 電子黒板機能付きプロジェクター及びタブレット端末を全教科で活用した、生徒の興味関心を高める授業の積極的な展開
東京都市大学附属 小学校	<ul style="list-style-type: none"> ■ プリティッシュヒルズ(福島県)における異文化宿泊体験の継続実施 ■ 「イングリッシュキャンプ in 成田」、「オーストラリア国際交流プログラム in シドニー」等本校独自の英語教育プログラムの展開 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教科指導に活用可能なタブレット端末の2020年度導入を目指した、教員用タブレット端末の先行導入及び効果的な活用方法の研究推進 ■ 食育(ミニレッスン)を基盤とした知育・徳育・体育の展開 ■ 中学受験指導に関するプログラム、課外補習の充実
東京都市大学二子 幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市大グループのグループメリットを活かし、東京都市大学附属小学校ネイティブ教員による英語教育の充実 ■ 英語活動の一層の充実を目的に ICT 英語機器の導入と教育効果の検証を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東急グループ(東急スポーツシステム)との連携における水泳指導と課外教室の実施 ■ パソコンによる保育教育に関わる教材開発の研究

3. 奨学金等による学生生徒等支援



【部活動への奨励】

「五島育英基金」や「曾祢奨学基金」等の各種奨学基金により、都市大グループ各校に在籍する学生・生徒等の奨学、顕彰及び部活動や特色ある教育活動の奨励等を行い、有為な人材の育成、教育研究の振興及びグローバル化の進展を図りつつ、既存の奨学基金の有効活用やその効果の検証を行い、より効果的な奨学金制度を目指し運用する。

また、都市大グループ各校が展開する魅力と特色ある教育活動を推進するため、「五島育英会夢に翼を奨学金」により、東京都市大学留学プログラムや海外インターンシップなどのグローバル人材育成事業への支援、社会的価値向上に貢献するような活躍が期待される部活動への奨励等を積極的に行う。

その他、地震等の大規模自然災害などにより被災した受験生、在学生及び入学予定者に対して、検定料、入学金、学費などの減免措置を継続して実施する。

4. 学校間連携



【東京都市大学二子幼稚園教育アドバイザー
東京都市大学人間科学部学部長による保護者対象講演会】



【東京都市大学横浜キャンパスにて1年間の研究成果を
発表する東京都市大学塩尻高校「探究コース」の生徒】

東京都市大学と付属 3 高校との連携による付属進学制度及び単位認定制度を実施し大学・高校間の円滑な接続を図る「高大連携」をはじめ、東京都市大学教員による付属高校での出張授業、スポーツや芸術分野の部活動連携、学園祭共同活動など、グループメリットを活かした学校間連携を展開する。

東京都市大学と東京都市大学二子幼稚園との「幼大連携」については、東京都市大学人間科学部の学生が二子幼稚園のイベント等のサポートや運営手法を学ぶ学生サポーター制度に加え、教授陣による児童教育に関するノウハウを活用した幼稚園教諭対象の研修会、保護者対象の講演会の実施など、より緊密な連携を図る。

また、東京都市大学と東京都市大学塩尻高校との協働による高大連携プログラムである「探究コース」の充実を図る。これらにより、都市大グループとしての総合力を高める。

5. 人事計画

(1) 職員配置

さらに魅力ある学校づくりを推進し、高いレベルでの教育スキルの維持・向上に努めるよう、2019年度の人員を以下のとおりとする。

[教育部門]

	専任職員	兼務教員	合計
教育職	513名	540名	1,053名
技術職	34名	—	34名
事務職	200名	—	200名
合計	747名	540名	1,287名

※専任職員の前年比…教育職:5名増、技術職:増減なし、事務職:1名減

[収益部門]

	職員
法人本部事業推進部収益事業課	4名
東急自動車学校	95名
合計	99名

※職員の前年比…法人本部事業推進部収益事業課:増減なし、東急自動車学校4名減

(2) 人材育成

事務職員においては、体系的な資格別研修を実施するとともに、次世代リーダーの育成を図ることを目的とした「ダイバーシティマネジメントの推進」のための研修を実施する。また、前年度に引き続き、自己啓発支援を実施し、特に語学能力開発に向けた研修に取り組む。

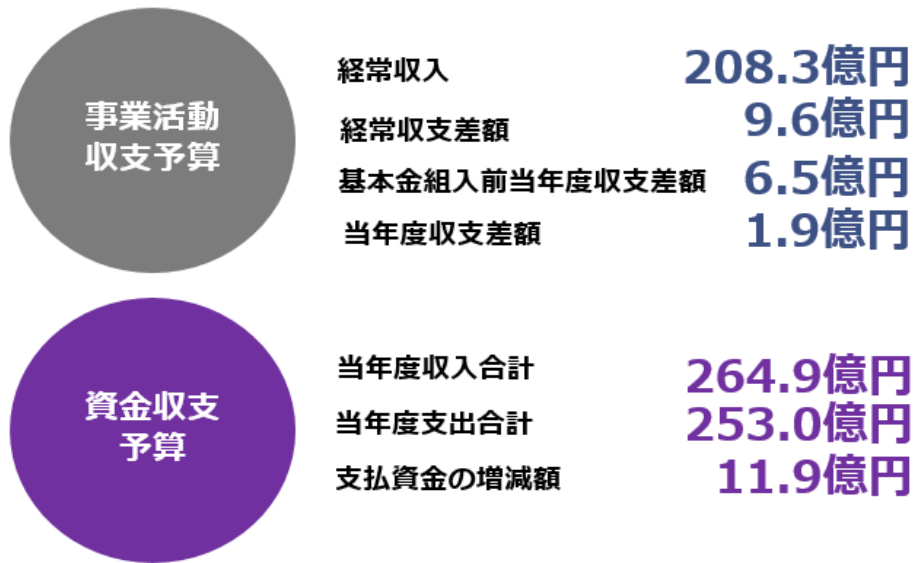
初等中等教育学校等の教育職員に対しては、個々の職員の授業力・指導力等、資質向上に向けた体系的な階層別研修を実施し、個々の教育スキルのさらなる向上に取り組む。

6. 財務計画

2019年度事業活動収支予算は、経常収入 208 億 33 百万円、一方経常支出は前述の諸施策を含め 198 億 71 百万円となり、経常収支差額は 9 億 61 百万円の収入超過となる。基本金組入前当年度収支差額は 6 億 50 百万円の収入超過となり、基本金 4 億 53 百万円を組入後の当年度収支差額は 1 億 97 百万円の収入超過となる。

資金収支予算は、当年度収入合計が 264 億 95 百万円、当年度支出合計が 253 億 3 百万円となり、収支差額は 11 億 92 百万円のキャッシュインとなる。都市大世田谷キャンパス校地購入を含めた都市大キャンパス再整備、ICT 設備等に 20 億 50 百万円の施設設備投資を行い、教育研究環境の充実を図る。

2019年度 予算ポイント



7. 施設・設備計画



【東京都市大学世田谷キャンパス 新6号館】



【東京都市大学 国際学生寮】

2019年度は東京都市大学におけるキャンパス再整備を始め、都市大グループ各校において整備充実を行い、加えて ICT 等特色ある教育推進のための環境整備を図る。

8. 収益事業に関する計画



【五島育英会ビル】

(1) 不動産賃貸

五島育英会ビル(東京都渋谷区道玄坂)は現状満室で稼働しているが、空調設備の更新を行う等、テナントのさらなる満足度向上を図る。また、野川ビル(川崎市宮前区野川)では居室用各種設備を更新し、居住者の満足度向上を図る。



【東急自動車学校】

(2) 東急自動車学校

近隣大学の都心回帰によるキャンパス移転等厳しい環境にあるが、近隣他校の営業施策や価格水準を精査した営業キャンペーンの機動的な展開を行うとともに、大学及び商業施設等におけるイベントの実施、Web・SNSの活用等営業手法の拡大による、若年層の教習ニーズの変化に対応した営業力の強化を図り、入校生の獲得に努める。なお、警視庁より受託している高齢者講習については継続する。

9. 内部監査

内部監査規程に基づき、業務運営及び会計処理の適法性及び妥当性を公正かつ客観的に検証・評価し、監査結果に基づく助言及び提言を行うことにより、法人の健全かつ円滑な運営に資することを目的とし、監査を実施する。

II 設置学校の2019年度事業計画

1. 東京都市大学

(1) 重点事業計画

- ① 「教育施策に関する基本方針 2020」の円滑な推進
- ② 学部学科単位による海外留学の推進
- ③ 未来都市研究機構「都市研究の都市大」プロジェクトの推進
- ④ 時代に見合った学部学科・大学院構成、教員組織のあり方の検討
- ⑤ 広報活動とブランディング活動の戦略的な展開

(2) 教育目標

公正・誠実さと自己研鑽力をもち、「都市」に集約されるような複合的課題に取り組むことができ、多種多様なボーダーを超えて新たな価値を見出すことで持続可能な社会の発展に貢献できる人材を育成する。

(3) 卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受入れの方針の概要

① 卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

東京都市大学は、本学の教育理念に基づき、所定の単位を取得し、以下の知識・能力等を修得した学生に対して卒業を認定し、学士の学位を授与します。

(自ら学ぶ力)

1. 主体的・自律的に学び、自己研鑽できる。

(課題を探究する力)

2. 「都市」に集約されるような複合的な課題に対してグローバルかつ未来志向の視点で取り組むことができる。

(ボーダーを超える力)

3. 多種多様なボーダーを超えて知識や考え方を共有し、新たな価値を見出すことができる。

(協働する力)

4. 公正・誠実に多様な人々と向き合い、柔軟に粘り強く協働することができる。

(実践する力)

5. 人類文化と社会を理解し、基礎的および専門的な知識とスキルを身につけ、それらを総合して持続可能な社会の発展に貢献することができる。

② 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

東京都市大学は、卒業認定・学位授与に関する方針を達成するために、以下のように教育課程を編成・実施します。

1. 「大学における学び方」を理解するため自校教育を含む初年次教育を実施する科目を配当するとともに、教育課程を通じて主体的・自律的な学習教育を実践する。
2. 学生が自らの知力と人間力を総合し、多様な知識・スキルを持った人々と協働して、複合的課題の設定とその解決にグローバルかつ未来志向の視点で取り組むための科目を配当する。
3. 実践的な英語スキルを含むコミュニケーション力およびチームワーク力を身につける科目を配当する。
4. 建学の精神「公正・自由・自治」を理解するとともに、専門に関わる倫理を理解・実践する力を含む人間力を身につける科目を配当する。
5. 多様な教養科目と、専門の基礎から応用までの知識とスキルを身につける科目を配当する。

③ 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

東京都市大学は、持続可能な社会発展をもたらすための人材育成を目的とし、その目的を達成するための学

術研究の領域ごとに学部を設置しています。各学部では、それぞれ定めた「人材養成および教育研究上の目的」に基づき、以下のような能力・意欲・目標を持つ人を求めます。

1. 大学教育に求められる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を持つ人
2. 当該学部学科の学術研究領域に対する強い関心と意欲に基づき、自ら学ぶ姿勢を持つ人
3. 教育研究を通じて身につけた幅広い視野と専門的学識により、持続可能な社会発展に寄与する人材となることを目標とする人

(4) 教育活動

- ① 大学教育再生加速プログラム(AP)の推進
- ② ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づいた教育課程の適切性等の検証、科目のスリム化、CAP制、クォーター制の促進
- ③ 新しい教育制度・主体的な学修を促す教育方法の導入
- ④ 全学的な教学マネジメントを重視した自己点検・評価を実施
- ⑤ 学部4年生の大学院進学希望者への先行履修科目受講促進のための学内広報の強化
- ⑥ 社会人向けの大学院拡充を図る、新たな社会人コースの設置検討

(5) 研究・研修活動

- ① Research Administration Center (RAC) の活用等による研究支援体制の強化
- ② 私立大学研究ブランディング事業に代わる新規事業の獲得
- ③ 教職員のグローバル化教育の推進

(6) 産学連携・共同事業等

- ① 地域社会との連携によるPR促進
- ② 産学連携・地域連携による共同研究のさらなる推進

(7) 施設・設備計画

- ① 将来の教育研究を見据えたキャンパス再整備の推進
- ② 中長期的なICTグランドデザイン策定に伴う教育施設設備の整備

(8) 特別計画

- ① 「アジア・オセアニア5大学連合」による教育プログラムの実施
- ② 国内外企業へのインターンシップ制度の維持促進
- ③ 高大接続改革をリードする施策による入学者の質の確保を重視した入学試験制度の導入
- ④ 学生相談室におけるカウンセリング体制の強化等、学生生活支援の充実による退学者の削減
- ⑤ 二子玉川夢キャンパスにおける学生の主体的活動の推進、地域連携拠点としての運用促進
- ⑥ 創立100周年を見据えた90周年記念事業の実施
- ⑦ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に合わせた貢献策の推進
- ⑧ 世田谷プラットフォームの大学・自治体・産業界連携による取り組みの実施

2. 東京都市大学付属中学校・高等学校

(1) 重点事業計画

東京都市大学の付属校として都市大グループ各校との連携を図り、男子中高 6 ヶ年完全一貫教育体制を確立し、進学校としての大学進学実績の成果を飛躍的に高め、社会的に高い評価を得るとともに広報活動を活発に行い、中学入試において高学力な生徒の定員確保に努める。

(2) 教育目標

- ① 都市大グループの一員として、校訓に掲げる「誠実・遵法・自主・協調」の精神により、健全な精神と豊かな教養を身につけ、国際社会で活躍する有為な人材を育成する。
- ② 豊富な体験に裏打ちされた確かな学力を身につけ、やがて直面する大学進学を確かなものとし、さらに、その先の社会人・職業人として活躍できる豊かな社会性・自主性・道徳心を備えた人材を育成する。

(3) 教育活動

- ① 授業、平常補習、長期休暇中の講習、学習合宿及びセンターマラソン等既存の学習プログラムの充実
- ② 放課後の外部講師による大学受験対策講座の設置等、新たな学習プログラムの構築
- ③ 教員・生徒双方向の授業の実践に関する検討の深化
- ④ 国内・海外研修旅行の充実及び海外大学進学希望者への指導強化による、国際的に活躍できる人材の育成

(4) 研究・研修活動

- ① 教員研修制度の整備・改善による授業力の向上
- ② 各年度研修の活性化による指導力の向上
- ③ 研修成果を教育改善・向上に結びつけるための指導体制の確立を図る方策の探求
- ④ 教員の外部研修会への積極的な参加による、新しい学力観(大学入試制度)への対応の推進

(5) 産学連携・共同事業等

- ① 都市大グループ学校間連携事業の促進
- ② 付属進学制度受験希望者の増加及び同制度合格者における学習意欲の持続に向けたプログラムの実施

(6) 施設・設備計画

校内施設・設備の適切な維持管理及び活用

(7) 特別計画

- ① ICT 環境整備及び ICT を活用した授業の拡大、先進的な授業の検討・導入
- ② 人物・学力ともに優れた生徒を対象とした「特別奨学生制度」の導入による、さらなる優秀な人材の獲得

3. 東京都市大学等々力中学校・高等学校

(1) 重点事業計画

新学習指導要領・入試改革に通底する IB 認定校のコア・カリキュラムである TOK(知の理論…反転授業の手法を取り入れたアウトプット型授業)、EE(課題論文)、CAS(創造性-活動-奉仕)の手法を委員会組織で研究し、各教員が教育活動を実践できるようにする。また、その教育効果を広報することにより、よりレベルの高い生徒を獲得し、上位クラスへの移行を目指す。

(2) 教育目標

- ① 第 1 期事業計画期間を「等々力改革第 2 ステージ」として、等々力中高の教育の充実期という意識を共有して職務に当たる。
- ② 五島慶太初代理事長の「熱誠」とノブレス・オブリージュの教育(「自由と規律」・「武士道」を含む)との融合を完成させ、個々の教職員が教育活動全般に広く活用できるようにする。
- ③ アクティブ・ラーニング(AL)活動と ICT 活動を取り入れながらも知識集約型の高度な授業レベルを確保する。
- ④ グローバルな視点での教育と伝統文化の教育やそれを支えている日本独特のものを感じ方・見方の双方を大切に学校風土を作り上げる。
- ⑤ 進学校の評価を盤石にする。

(3) 教育活動

これまでの道徳教育活動を体系化した冊子「体験し・調べ・考え・議論する—都市大等々力の道徳 1」を完成させ、五島慶太先生の自校教育や、注力している ESD*を進める。また、これまで研修を積み重ねてきた、AL 活動(ジグソー法)やタブレット活用法を授業で実践することで、生徒の学びの姿勢を一層強化する。

(4) 研究・研修活動

TOK 推進委員会を 6~8 名で組織、手法について研究する。

(5) 産学連携・共同事業等

世田谷南ロータリークラブとの関係強化を図ることにより、東南アジアを中心に、世界 20 か国から留学生を招き、母国の風土や歴史、自身のキャリアプランを語る刺激に富んだワークショップ(クロスカルチャー講座等)を充実させる。

(6) 施設・設備計画

- ① 経年劣化対策工事の実施
- ② ICT 教育環境の拡充

(7) 特別計画

大学入試改革で求められる活動履歴(ポートフォリオ)について、授業・学校行事と関連付けて自己の成長を記録していくことを目指し、高校 1 年生と中学 3 年生で先行して取りまとめ、フォーマット化する。また、その結果を踏まえ、各学年に展開していく。

※ 文部科学省が提唱する「持続可能な開発のための教育」「持続可能な社会作り」の担い手を育む教育のこと。(Education for Sustainable development)

4. 東京都市大学塩尻高等学校

(1) 重点事業計画

- ① 基礎学力の定着度の確認・分析、個別指導等の充実による、国公立・難関私立大学への進学率の向上
- ② 東京都市大学、県内企業及びハローワーク等との連携強化およびキャリア教育の充実
- ③ 世界各国からの留学生の積極的な受け入れ、海外語学研修などによるグローバル教育の実施
- ④ 新たな高大接続及び新学習指導要領に対応した教育課程の作成による、教育内容の充実
- ⑤ 都市大グループ各校及び東急グループ各社との連携を模索し、行事等を実施することによる、本校ならではの魅力の発信

(2) 教育目標

- ① 高い学力・受験力の育成
学力の向上を目指し、教育システムの構築を行う。入学時偏差値を引き上げ、卒業時偏差値を国公立大学合格レベルまで引き上げる。
- ② 学力中位層向け指導の充実
手厚い指導により、学習への意識付けを行う。また知的で達成感のある学校行事を通じて、豊かな学園生活や居場所、自信と誇りを持たせる。さらに満足できる進路実現を全面的にサポートする。
- ③ 全国レベルのクラブ活動と人間力の育成
地区外・県外からの生徒受け入れも視野に入れ、強化部(野球・サッカー・女子バレーボール)を中心として全国大会で活躍し、都市大グループの名を全国に広める。また、生徒自らも部活動を通じて人間力の育成を行う。

(3) 教育活動

- ① 国公立大学現役合格者輩出に向けた、「国公立大学進学」プロジェクトの継続実施(特別選抜類型)
- ② 学力中位層のレベルアップに向けた施策の充実(文理進学類型)
- ③ 体系化した学校行事による、楽しく達成感のある行事活動の実施を通じ、自主自立精神の育成
- ④ 文化系部活動の活性化と加入率の向上

(4) 研究・研修活動

- ① 新大学入試に向けた指導力向上と教員の質向上の研修
- ② 学力中位層の授業理解力向上と授業規律の徹底を目指した授業研究の実施
- ③ 授業アンケート分析結果のフィードバック及びその改善

(5) 産学連携・共同事業等

- ① 探究コースにおける東京都市大学教授陣との協働
- ② 東京都市大学との遠隔授業の促進と研究協力による連携

(6) 施設設備計画

グラウンド環境の整備・充実

5. 東京都市大学付属小学校

(1) 重点事業計画

- ① 中学受験指導に関するプログラム及び課外補習の充実(理科受験対策講座・数学中学準備講座の実施)
- ② 常に志願倍率「5倍」以上を目指す募集対策及び教育プログラムの開発
- ③ 制服変更・課外スクール(華道・英語等)等施策による女子応募者のさらなる確保
- ④ 本校独自の英語教育の確立
- ⑤ 東京都市大学との小大連携事業の検討・充実

(2) 教育目標

二期4ステージ制を導入したことにより、ダイナミックに教育を展開し、児童の高い学力と豊かな心をしっかりと育成し、国際的な素養を有しつつ、都内屈指の名門校と評価される学校づくりをめざす。

- ① 児童が楽しんで勉学や生活に勤しめる安心できる学校づくり
- ② 自ら目標を定めて計画し、進んでものごとを解決しようとする態度の育成
- ③ グローバル化など、新しい時代に対応した教育計画を常に実現する学校づくり

(3) 教育活動

- ① 4教科の学力向上に向けた施策の実施(教科指導法や教材精選に関する研究時間の確保等)
- ② 算数習熟度別学習及び国語特別講座の充実
- ③ メディアルーム及び各教室の情報機器の有効活用に向けた整備
- ④ 体験学習の充実(三國シェフ食育プロジェクト、Bunkamuraオーチャードホールでの音楽発表会、日本各地における宿泊学習及びまめ記者講習会実施等)
- ⑤ 自主的・主体的な姿勢を育むことを目的とした縦割り活動の充実(体験学習、係活動及び児童会等)

(4) 研究・研修活動

- ① 効果的な指導法や受験指導体制に関する継続的な研究及び実践
- ② 全教科に関する年間指導計画の作成及び検証
- ③ 東京私立初等学校協会等の外部団体が主催する研修会への積極的な参加
- ④ 新任(初任)者研修の一層の充実

(5) 産学連携・共同事業等

- ① 東京都市大学との連携(東京都市大学教授陣による講演の実施、夏休み生活展の夢キャンパスでの開催)
- ② 児童新聞活動の充実を目指した東京都市大学新聞会との連携
- ③ 地域及び東京私立初等学校協会加盟校との連携に関する研究推進

(6) 施設・設備計画

校内映像配信システム導入を目指した適切な運営方法の研究

(7) 特別計画

- ① 本校ホームページ及び東京私立初等学校協会ホームページ(本校掲載ページ)の刷新
- ② 進学指導(受験指導)及び入試情報の共有等を目的とした父母教室の開催

6. 東京都市大学二子幼稚園

(1) 重点事業計画

- ① 「建学の精神」に基づいた「目指す子ども像」の育成に向けた保育・教育活動の研究・実践
- ② 国際化教育の充実を図るための ICT 英語機器の研究・導入
- ③ 子育て中の家庭が入園を憧れるブランドの確立に向けての研究・推進
- ④ 魅力ある教育活動等の発信等、広報活動の充実による安定的な定員の確保
- ⑤ 防災・防犯、園内事故防止に係る設備・備品等の検証及び整備による安全面のさらなる強化

(2) 教育目標

- ① 文部科学省「幼稚園教育要領」に沿った＜「あそび」を中心とした幼児教育＞による知育・徳育・体育の「三育」を進める。
- ② ＜子どもは、「あそび」を通して得られる生活体験の豊かさによって、あらゆることに興味・関心を持つ心が育まれ、心身ともに、健康と賢さに満ちた子に育つ＞という観点を大切にしつつ、毎日「課題あそび」と「自由あそび」を組み合わせることで集団行動ができる子、個性を伸ばせる子を育てる。

(3) 教育活動

- ① 毎日の「課題あそび」と「自由あそび」に加え、四季折々の園行事や学年行事を組み合わせる多様かつメリハリのある教育の展開
- ② 「知育・徳育・体育」の三育に「食育」を加えた教育活動の推進
- ③ 都市大グループ各校及び東急グループ各社と連携した教育活動の深化
- ④ 子育て支援の社会ニーズに応えることを目的とした長期休業中における預かり保育の実施
- ⑤ 「子どもの発表会」等の行事製作物の有効活用による業務改善

(4) 研究・研修活動

- ① 園分掌組織の研究・編成・実施・検証
- ② 救急・救護に係る研修会への全員参加、資格取得の推進
- ③ 子どもの活動を促し、導く教師としてのあるべき姿の検証

(5) 産学連携・共同事業等

- ① 東京都市大学人間科学部との連携(教育アドバイザー・学生サポーター制度)
- ② 東京都市大学等々力中高との連携(科学体験教室)
- ③ 東京都市大学附属小学校との連携(ネイティブ教員による国際化教育)
- ④ 東京都市大学総合グラウンドとの連携(広場あそび・マラソン大会)
- ⑤ 東急グループ各社との連携(水泳指導・課外教室)

(6) 施設・設備計画

- ① セキュリティ強化を目的とした遠隔操作による門の開閉(施錠)システムの導入
- ② 園児活動スペースにおける安全確保のため、新たな教材保管専用倉庫の設置



学校法人 五島育英会

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-10-7 五島育英会ビル 8 階

本学の情報は下記の Web サイトでもご覧いただけます。

本法人 Web サイト

<https://www.goto-ikuei.ac.jp/>

事業計画書・報告書 Web サイト

<https://www.goto-ikuei.ac.jp/10hjin/20data/plan.html>